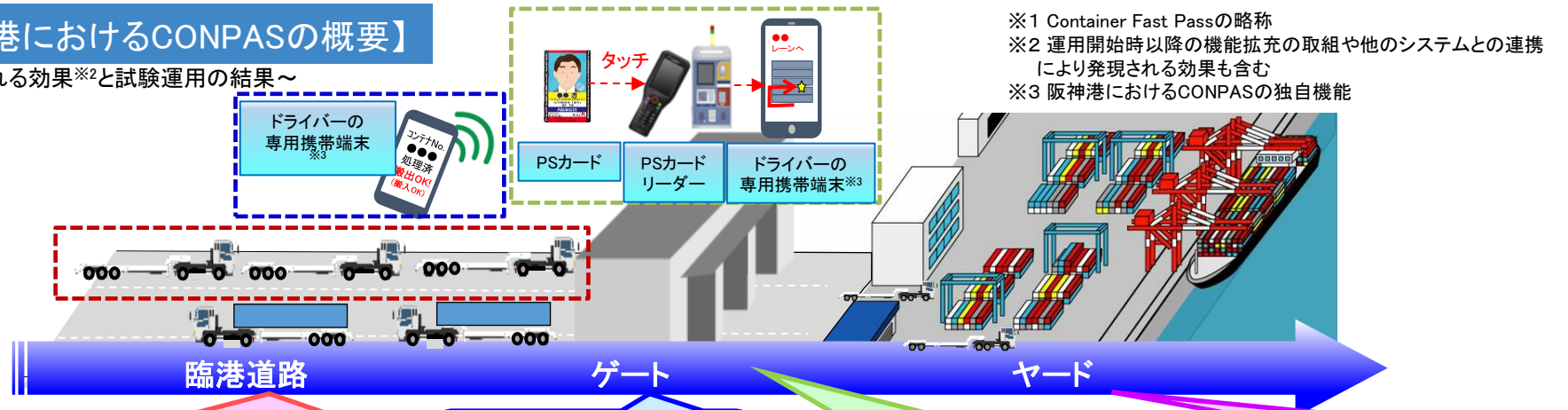


CONPASの概要

- CONPAS※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発したシステム。
- 阪神港では、利便性の向上を目指し、阪神港の独自機能としてCONPAS専用携帯端末等を導入。
- 阪神港においては、大阪港夢洲コンテナターミナルで令和6年3月29日、神戸港PC-18は令和6年9月27日に常時運用を開始。また、令和8年3月27日からは神戸港KICTにおいて常時運用を開始。導入ターミナルを順次拡大中。

【阪神港におけるCONPASの概要】

～期待される効果※2と試験運用の結果～



- ※1 Container Fast Passの略称
- ※2 運用開始時以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む
- ※3 阪神港におけるCONPASの独自機能

①搬出入予約
 予約制度の導入により、トレーラー到着時間を平準化

②搬出入情報の事前確認
 事前の搬出情報の確認、搬入情報の照合により、ゲートでのトラブルを回避

③PSカード・携帯端末の活用
 PSカードタッチ処理・携帯端末による行先表示※3により、ゲート処理時間を短縮

④予約情報・車両接近情報の活用
 CONPASを通じた車両情報等の活用により、ヤード処理を効率化

【試験運用結果】
 ・**予約制度・CONPAS専用レーン**の設定等により、ほぼ**全てのCONPAS車**が**予約時間どおりにコンテナターミナルゲート到着**
 ・大阪港DICT(実入搬出)の**ゲート前待機時間**について、CONPAS車は通常車と比較して、平均**約30分減**を確認
※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7~8)

【試験運用結果】
 ・**ゲート処理時間**(実入搬出)が、平均**約1分減**
※大阪港DICT第2回試験運用(R4.8~9)
 ※神戸港PC18第2回試験運用(R3.8~9)
 ・CONPAS車では搬入票エラー等によるゲート待機無し
※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7~8)

【試験運用結果】
 ・ターミナルオペレーションシステムへ、CONPAS予約情報等のデータ送信機能を構築

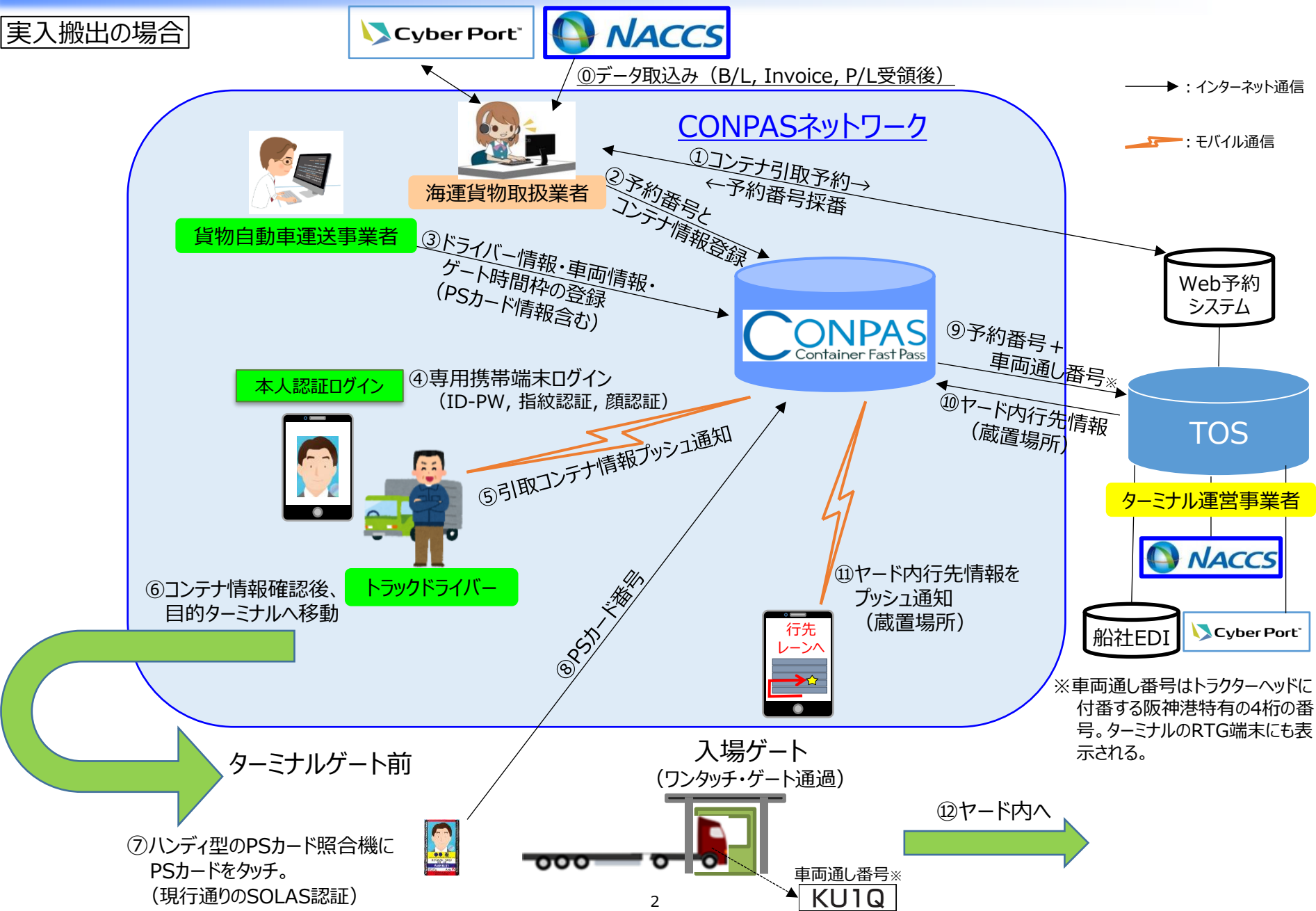
【更なる将来展開】
 ・CONPAS利用の拡大を図りつつ、トレーラー到着時間の平準化を目指す

【更なる将来展開】
 ・より効率的なゲート処理に向けて、CONPASの機能拡充を図る

【更なる将来展開】
 ・ターミナル事業者等と連携し、CONPAS予約情報の活用によるヤード処理の効率化を目指す

CONPASシステム連携図

実入搬出の場合



- ・阪神港では、Cyber PortとCOMPASを連携させ、以下の事柄の実現をコンセプト（初期導入時）として定めている。
 - 二重入力の廃止（入力間違い、言い間違い、聞き間違い、書き間違いの廃止）
 - ペーパーレス化（令和6年3月29日より可能な限りFAX及び紙の印刷の廃止）
 - コンテナ情報及び位置情報の共有化（各事業者間の問い合わせ削減）
- ・横浜港（南本牧ふ頭）では、令和3年3月より常時運用を開始。
本牧ふ頭においても順次、試験運用を実施中。
- ・東京港では、大井1・2号で令和7年8月から、3・4号で令和8年1月から、6・7号ターミナルで令和8年3月から常時運用を開始。
- ・大阪港では、夢洲コンテナターミナル（DICT）において、令和6年3月29日より運用を常時開始。その他のターミナルについては今後、導入に向けた検討を進める。なお、神戸港（PC-18）では、令和6年9月27日に常時運用を開始。また、神戸港（KICT）では、令和8年1月に試験運用を実施し、令和8年3月27日から常時運用を開始。

現 状	CONPAS導入効果
<p>ドライバーがゲートで予約番号を打ち込む必要があるため、ゲート通過に時間を要する。</p>	<p>PSカードを活用した認証により、予約番号の打ち込みが不要となり、ゲート通過時間が短縮。</p>
<p>搬入票に記載ミスがある場合に、ゲートで確認・訂正が入り通過に時間を要する。</p>	<p>搬入票情報の事前照合機能により、確認・訂正の連絡対応にかかる時間が削減できる。</p>
<p>ゲートクレークによる作業指示書や搬入票の確認、未入力情報の入力作業が必要。</p>	<p>作業指示書や搬入票の情報は事前登録可能。事前照合機能により、ゲートクレークによる入力・確認作業が不要になる。</p>
<p>事前に総重量、コンテナ自重、シール番号が判らない為、ゲート到着時に搬入票を確認した後、蔵置場所を決定するため、処理に時間を要する。</p>	<p>事前に本船名、仕向地、総重量、コンテナ自重、シール番号などが判るため、トラックがゲートに到着する前に蔵置場所を決定できる。ゲート通過時間の短縮。</p>
<p>輸入コンテナがいつ搬出されるか見通せない。</p>	<p>事前予約により、搬出予定のコンテナを事前に把握することが可能となり、事前準備・作業体制の検討ができる。荷繰りの軽減。</p>
<p>コンテナの荷役状況等の問合せの電話対応が必要。</p>	<p>リアルタイムでコンテナ状況（位置情報を含む）や荷役状況の確認が可能となり、事業者間の問い合わせが削減される。</p>

現 状	CONPAS導入効果
<p>コンテナ引取り依頼等は電話やFAXで手配。手書き書類もあり、ミスが起き易い。</p>	<p>コンテナ引取り依頼等が電子化され、手書きの必要が無く、ミスがなくなる。 事業者間の連携が容易になる。</p>
<p>コンテナ情報（コンテナ番号やB/L番号等）の記載ミスがあった場合に、間違いに気づかない場合がある。（ターミナルに到着してから判明）</p>	<p>事前にTOSからのデータと突合し、照合できる（TOSのデータを正とする）</p>
<p>各種手続きで全ての情報をシステムへ手入力（コンテナ番号、ブッキング番号、B/L番号等 何度も入力したり記載が必要）。</p>	<p>一度入力した情報は紐づけ管理され、二重入力が不要となり、事務手続きが省力化される。</p>
<p>搬入票の記載ミスがある場合に、確認・訂正の連絡対応に時間を取られる。</p>	<p>搬入票情報の事前照合機能により、確認・訂正の連絡対応にかかる時間が削減できる。</p>
<p>荷主等からの問合せに関し、海コン事業者やターミナル・船会社に、電話等で確認が必要。</p>	<p>CONPAS利用者は、リアルタイムでコンテナ状況（位置情報を含む）や荷役状況の確認が可能となり、事業者間の問い合わせが削減される。</p>
<p>コンテナの増加やドライバー不足、ターミナルゲートの混雑により、ドレージの手配が難しくなっている。</p>	<p>ゲート前の待機時間の削減、陸運事業者の作業の回転率向上によりドレージを確保しやすい環境となる。</p>

現 状	CONPAS導入効果
<p>コンテナ引取り依頼等は電話やFAXで受領。手書き書類もあり、ミスが起き易い。</p>	<p>コンテナ引取り依頼等が電子化され、手書きの必要が無く、ミスがなくなる。事業者間の連携が容易になる。</p>
<p>ドライバーがゲートで予約番号を打ち込む必要があるため、ゲート通過に時間を要する。</p>	<p>PSカードを活用した認証により、予約番号の打ち込みが不要となり、ゲート通過時間が短縮。</p>
<p>荷主等からの問合せに関し、対応が必要。</p>	<p>CONPAS利用者は、リアルタイムでコンテナ状況（位置情報を含む）の確認が可能となり、事業者間の問い合わせが削減される。</p>
<p>コンテナ貨物を引き取る際、ゲートでプラカードの発行が必要。</p>	<p>PSカードをゲートにかざすことで、専用携帯端末にヤード内行先が表示される。</p>
<p>搬入票に記載ミスがある場合に、ゲートで確認・訂正が入り通過に時間を要する。</p>	<p>搬入票情報の事前照合機能により、ゲート到着前に照合・修正が可能となり、ゲート通過時間が短縮。</p>
<p>コンテナの増加やドライバー不足、ターミナルゲートの混雑により、ドライバーの手配が難しくなっている。</p>	<p>ゲート前の待機時間の削減等による作業の回転率向上によりドライバーの手配しやすい環境となる。</p>

- 海運貨物取扱業者がCONPASを利用（輸入）するにあたり、ターミナルのWEB予約システムから搬出予約番号を取得。その後、搬出予約番号をキーにコンテナ情報をCONPAS上に表示させ、貨物自動車運送事業者へ引取り依頼を行う。
- 依頼状況はリアルタイムに確認でき、拒否された場合でもすぐに別の貨物自動車運送事業者への再依頼が可能。
- コンテナ搬出可否情報がCONPAS上で確認できるため、各事業者間の問合せが削減できる。

海運貨物取扱事業者の輸入画面

- 搬出予約番号を入力してコンテナ情報を取得
- リストから依頼したい貨物自動車運送事業者を選択

貨物自動車運送事業者への依頼状況を確認

TOS※より搬出可否情報をCONPASへ反映

※TOS：ターミナルオペレーションシステム

効果

- ・二重入力、入力間違い等の削減による作業効率化
- ・貨物自動車運送事業者選択による簡易な作業指示
- ・依頼を拒否された場合、別の貨物自動車運送事業者への再依頼も可能
- ・各事業者間の問合せ削減

- 海運貨物取扱業者がCONPASを利用（輸出）するにあたり、Booking番号・本数・ターミナル等の項目を入力して作業内容を作成。その後、貨物自動車運送事業者へ搬入依頼を行う。
- 依頼状況はリアルタイムに確認でき、拒否された場合でもすぐに別の貨物自動車運送事業者への再依頼が可能。
- コンテナ搬出可否情報がCONPAS上で確認できるため、各事業者間の問合せが削減できる。

海運貨物取扱事業者の輸出画面

CONPAS Container Fast Pass コンテナ予約システム 海貨 1月9日(火) 16:06 港湾 太郎

輸出依頼状況一覧

輸出 依頼・再依頼 新規作成

ターミナル	Booking番号 ↑	S/I	海コン事業者	枝番	本数	陸揚港	最終仕向港	温度	照合結果	依頼状況	コンテナ状況
神戸PC18	022100046228		株式会社 阪神港CONPASテスト CONPAS海コン(CP7)	2	2	USLAX	USLAX	20°F	Booking × Container ×	○	ゲートアウト
DICT	4010564002			1	1	TESTS	TESTS		Booking × Container ×	×	CONPAS未予約
DICT	5197669613			1	2	BTEST	UTILT	10°F	Booking × Container ×	×	CONPAS未予約

- Booking番号等を入力して作業内容を作成
- リストから依頼したい貨物自動車運送事業者を選択

貨物自動車運送事業者への依頼状況を確認

TOS※より照合結果をCONPASへ反映

効果

- 貨物自動車運送事業者選択による簡易な作業指示
- 依頼を拒否された場合、別の貨物自動車運送事業者への再依頼も可能
- 各事業者間の問合せ削減

※TOS：ターミナルオペレーションシステム

- 貨物自動車運送事業者の配車係は、海運貨物取扱業者の依頼を受付後、ターミナルへの引取日時の予約、ドライバーの指定を行う。ドライバーの指定を行った際、ドライバーの携帯端末に作業指示が表示。また、コンテナ情報が反映されているため、情報入力作業が省略できる。
- 予約したコンテナの搬出可否情報が画面で確認できるため、ゲートトラブルや各事業者間の問合せが削減できる。

貨物自動車運送事業者の配車系の画面

CONPAS 海コン 1月12日(金) 18:35 港湾 太郎

配車画面

輸入 輸出 新規 依頼 予約

検索...

種別	ターミナル	納入日/ CY搬入日	予約 (日)	予約(時)	海貨メモ	配車メモ	ドライバー	予約 番号	B/L番号, Booking番号	コンテナ番号	コンテナ 種別	三軸 要否	配達先 引取先	海貨 事業者	搬出可否・FT/ 事前照合	コンテナ 状況
実入搬出	DICT	01/12	01/13	09:00~10:00	優先度5			49336 65996	JB-J-8944	BABU7439574	ドライ 20' 8'6"	×	xxx社	株式会社 阪神港CONPASテスト 海貨(CP7)	搬出可否 02/15	CONPAS 予約済
実入搬出	DICT	01/12	01/13	10:00~11:00	優先度4			73648 65308	STO-0710	IDYU8171999	ドライ 20' 8'6"	×	xxx社	株式会社 阪神港CONPASテスト 海貨(CP7)	搬出可否 01/28	CONPAS 予約済
実入搬出	DICT	01/12	01/13	11:00~11:20	優先度3			10267 69739	JXA-5130	QQCU1463767	ドライ 20' 8'6"	×	xxx社	株式会社 阪神港CONPASテスト 海貨(CP7)	搬出可否 01/12	CONPAS 予約済
実入搬出	DICT	01/12	01/13	13:00~13:30	優先度2			59860 65057	ATI-3189	YDLU8408958	ドライ 20' 8'6"	○	xxx倉 庫	株式会社 阪神港CONPASテスト 海貨(CP7)	搬出可否 01/11	CONPAS 予約済
実入搬入	DICT	01/12	01/13	13:30~14:30	優先度5				TEST00001	TESU1000001	ドライ 20' 8'6"	×	xxx倉 庫	株式会社 阪神港CONPASテスト 海貨(CP7)	Booking Containe	CONPAS 予約済
実入搬入	DICT	01/12	01/13	14:30~15:30	優先度4				TEST00002	TESU1000002	リーフア 40' 9'6"	×	xxx倉 庫	株式会社 阪神港CONPASテスト 海貨(CP7)	Booking Containe	CONPAS 予約済

- 海運貨物取扱業者の依頼に基づき、引取日時を登録。(事前予約制)
- ドライバー名を選択し作業指示

海運貨物取扱業者と貨物自動車運送事業者の
情報連携

TOS※の搬出可否情報や照合結果をCONPASへ反映

効果

- ターミナルへの予約・ドライバーへの作業指示状況の可視化
- 二重入力、入力間違い等の削減による作業効率化
- ゲートトラブル削減
- 確認作業の効率化 (問合せ削減)

作業指示を受けたドライバーの携帯端末

- 貨物自動車運送事業者配車係によるドライバー指定の操作がドライバーへの作業指示となり、それを受けたドライバーの携帯端末に搬出可否情報を含むコンテナ情報が表示される。
- 輸入ではゲート入場時にPSカードを読み取り後、携帯端末にヤード内の行先が表示される。

配車指示の受付後に
貨物状態を確認する画面

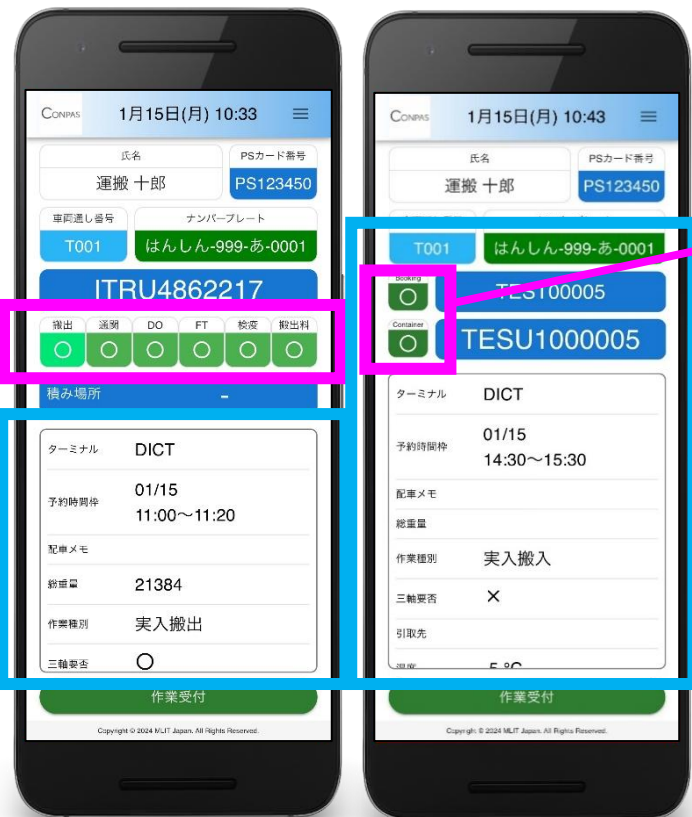
ゲート受付時の画面

(輸入)

(輸出)

(輸入)

(輸出)



効果

- ヤード内行先表示によるペーパーレス化
- 搬出可否情報や照合結果を確認の上、移動することで、ゲートトラブルを削減
- 貨物情報の通知による情報伝達の作業負担・ミスを防ぎ、ゲートトラブルを削減
- GPSの位置情報等にて自動的にゲートインやゲートアウト等の情報が反映される。

